



「日本で最も美しい村」連合

資格10年目審査を通過(合格)しました

小坂町が加盟している「日本で最も美しい村」連合(以下:連合)では、5年に一度「美しい村」としての方針に基づき、審査をすることになっています。去る9月26～27日の2日間、連合の審査員が来町し、資格10年目の審査が行われ、小坂町はA～D(Dは不合格)の4段階で「B」評価をいただきました。

審査内容

- ・町担当者自己評価シート(事前提出)
- ・視察(十和田ふるさとセンター、小坂七滝ワイナリーなど)
- ・意見交換会(ホテルゴールドパレスにて) ・町長ヒアリング(小坂町役場にて)

審査結果について 総合評価：B

- ①加盟町村地域にふさわしい方針と景観を持っているか **格付評価：A**
 - ・連合の長期ビジョンと一致した町の総合計画の基本構想を掲げている
- ②生活の営みと深い関わりのある景観が存在すること **格付評価：A**
 - ・伝統的な街並み、統一感のある木造建築がある(明治百年通りの建築物、十和田ホテルなど)
 - ・周囲の豊かな自然環境に根ざした里の生活の営みによって創られた景観がある(十和田湖西湖畔)
- ③文化が存在すること **格付評価：B**
 - ・地域に根ざした伝統芸能や歴史的に地域と歩んだ祭礼などが継続している(近代クリスマス発祥の地としてのクリスマスマーケット、小坂七夕祭り、小坂音頭など)
 - ・地域素材を活かした食文化が存在する(十和田湖ひめます、小坂七滝ワイン、かつラーメンなど)
- ④世襲財産を保護する公的な規制が存在すること **格付評価：A**
 - ・景観保護条例の制定や国立公園の自然公園法、文化財保護法など
- ⑤地域の価値を高め、発展させる努力が見られること **格付評価：B**
 - ・歴史的建造物を現役で公開、観光客を受け入れる準備ができている
- ⑥地域の活力を高め、発展させるための住民参加が見られること **格付評価：A**
 - ・住民が積極的に美化活動に参加、芝生や花が丁寧に手入れされている
 - ・廃校活用は他の手本となり、日本語学校と住民の交流など多様な人々の受け入れに柔軟である
- ⑦経済的な自立を目指す努力が見られる **格付評価：B**
 - ・ワインは美味しい村づくりへ地域をあげた取り組みとして展開されている
 - ・地域資源を活かした持続的な地場産業(リサイクル関連事業)の従事者が住む場所として選ばれる町に発展することを期待する
- ⑧首長の想いやリーダーシップが発揮され、今後のビジョンが明白であること **格付評価：B**
 - ・首長と行政は住民と連携し、誰もが住みたくする持続可能な未来図を具体的に描くことが急務である
- ⑨その他 **格付評価：A**
 - ・前回課題だった十和田ふるさとセンターの活用に進展が見られ、魅力的なアクティビティプログラムとカフェでの飲食もおいしく、町民や近隣の人たちにとって人気スポットになってほしい
 - ・来訪者へウエルカムな姿勢が行政、民間(視察箇所)ともにある
 - ・古いものを守るだけでなく、新たな取り組みを積極的に行っており、地域循環や自立に向けたプラス効果が生まれている

担当者より

今年度は定期総会が小坂町で開催され、全国から多くの関係者が来町しました。そのような中、今回評価が得られた部分は自信を持ち、一方で課題を見つめ直し、これからも町全体で「美しい村」づくりに取り組んでいきます。

具体的な評価の詳細は町のホームページでご覧いただくことが可能です。
(項目ごとの格付評価詳細、各審査員のコメント、町担当者の自己評価シートなど)

